

令和3年度CAD製図専門学校学校関係者評価 報告

学校自己評価書を学校関係者評価委員に配布し、確認を依頼する。学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果について評価し、評価書を作成する。

会議の進行及び必要な事務は学校が行うが、学校関係者評価委員の中から主査を選任し、自己評価結果に対する公正な評価に努める。

1 スケジュール	予定	実施日
(1) 規程(案)の承認	令和3年2月1日	令和3年2月1日
(2) 評価委員の選抜	令和3年4月1日	令和3年4月1日
(3) 第1回開催	令和3年8月30日	令和3年9月30日
(コロナ感染拡大緊急事態宣言発令の為書面会議への変更)		
(4) 第2回会議	令和3年12月22日	令和3年12月22日
(5) 第3回会議	令和4年3月	令和4年1月19日
(6) 第4回	(書面にての会議・まとめ)	令和4年3月30日
(7) ホームページ公表	令和4年4月	令和4年4月

総合点検・評価の結果	(自己評価)	(学校関係者評価)
1 教育理念・目標・人材育成	現状維持	さらに向上に努める
2 学校運営	現状維持	現状維持
3 教育活動	現状維持	さらに向上に努める
4 教育成果	現状維持	さらに向上に努める
5 学生支援	さらに向上に努める	さらに向上に努める
6 教育環境	さらに向上に努める	さらに向上に努める
7 学生の募集・受け入れ	現状維持	さらに向上に努める
8 財務	現状維持	さらに向上に努める
9 法令等の遵守	現状維持	さらに向上に努める
10 社会地域貢献	さらに向上に努める	さらに向上に努める
11 国際交流	現状維持	さらに向上に努める

令和4年4月

学校法人古藤学園CAD製図専門学校
学校関係者評価委員会

委員会議の開催

I 第1回会議

第1回会議を令和3年8月30日に計画したが、新型コロナウイルス感染拡大緊急事態宣言が発令されたことを受けて、各委員さんによる書面会議とした。

第1回学校関係者評価委員会会議 議事録

1 日時 令和3年8月18日(水) 8月30日の会議の中止と書面会議への変更の通知

2 内容

- (1) 委嘱状の通知 全員受領
- (2) 令和3年度学校自己評価を送付して、各委員さんからご意見をいただく。
9月30日までの書面によるご意見を賜る。

(3) 学校自己評価委員会

委員長 荒川剛二(理事長・校長)
委員 谷野利騎(理事・校長代行)
駒崎秀雄(法人部参与)
樋口圭子(事務局長)
濱野信行(教務部部長)
太田 敦(広報部部長)
宇野浩生(製図科学科長)

(4) 学校関係者評価委員

委員長 細川 威(地域関係者・越谷市議会委員)
委員 小川彩香(本校建築科卒業生)
田村正弘(有識者・栃木銀行支店長)
鈴木浩一(企業関係者・ポラスグランティック参事)
中山 望(学校関係者・県立三郷高等学校校長)

II 第2回会議

コロナ緊急事態が10月をもって解除されたので、各委員さんのご都合を伺って、令和3年12月22日に開催の運びとなった。

第2回学校関係者評価委員会会議 議事録

- 1 日時 令和3年12月22日(水)午後2時～4時
- 2 会場 CAD製図専門学校 1号館 1102室
- 3 議事 進行 担当・駒崎
 - (1) 校長挨拶 荒川校長
 - (2) 自己紹介 学校関係者 谷野利騎 校長代行
樋口圭子 事務局長
稲塚久馬 オブザーバー・浦和専門学校
駒崎秀雄 法人部参与・担当
関係者委員 田村正弘 栃木銀行蒲生西支店長
鈴木浩一 ポラスグランティック参事
小川彩香 建築科卒業生
中山 望 高等学校長
細川 威 越谷市市議員
 - (3) 委員長選出 細川委員選出される。以後進行は細川委員長。
 - (4) 協議事項 ・学校概要説明・事業報告書 谷野校長代行
・学校関係者評価委員会規程(案)承認 駒崎担当
・令和3年度自己評価報告 樋口事務局長
細川議長 進行役終了
以降は駒崎担当が進行・案内
 - (5) 授業視察・施設案内 1号館(IT科)・3・5号館(ビジネス科)
 - (6) その他(意見交換)
 - ・評価をするに当たって学校の様々なデータが欲しい。(鈴木委員)
退学者数、就職率、各種検定等
 - ・評価するに当たってのデータは必要。(稲塚委員)
 - ・次回に提示します。(担当)
- ・今後の予定 次回 令和4年1月19日(水)14時のご案内をする。
- ・事務連絡 謝金等 (担当)

Ⅲ 第3回会議

各委員さんに項目・基準を割り当てて評価並びにご意見を伺った。

出席委員 田村委員、鈴木委員、細川委員

欠席委員 小川委員、中山委員（評価シート意思表示）

学校側出席者 駒崎担当、稲塚オブザーバー、小坂義彦（書記）

第3回学校関係者評価委員会会議 議事録

1 日時 令和4年1月19日（火）14時～16時

2 会場 CAD製図専門学校 1号館 1102室

3 内容

(1) 開会 担当

(2) 授業視察 2号館（CAD製図科） 7号館（デザイン科）

(3) 学校関係者評価委員評価と意見交換 議長 細川委員長

項目・基準と関係者評価委員会担当者による評価

項目・基準	担当者
ア 教育理念・目標・人材育成	中山委員（担当より評価シート報告）
イ 学校運営	中山委員（担当より評価シート報告）
ウ 教育活動	鈴木委員
エ 教育成果	鈴木委員
オ 学生支援	小川委員（担当より評価シート報告）
カ 教育環境	小川委員（担当より評価シート報告）
キ 学生の募集・受け入れ	細川委員
ク 財務	田村委員
ケ 法令等の遵守	田村委員
コ 社会・地域貢献	細川委員
サ 国際交流	細川委員

以上の項目について担当者より評価をいただき、意見交換を実施した。

4 その他

- ・ 今後の予定 2月 まとめの作業（担当）
3月 各委員さんにまとめを送付
4月 ホームページ公表
- ・ 事務連絡・謝金等（担当）
- ・ 閉会（担当）

評価項目別評価

A：最良

B：良

C：可

D：不可・見直し

基準 1

学校関係者評価委員・評価シート

評価者

中山委員

1 教育理念・目的・人材育成

評価項目

- | | | |
|-----|-------------------------------|---|
| 1-1 | 理念・目的・育成人材像は適正に定め、行われているか | A |
| 1-2 | 育成人材像は専門分野に関する業界等のニーズに適合しているか | B |
| 1-3 | 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか | A |
| 1-4 | 社会のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか | A |

評価者意見

・自己評価では全ての項目でA, Bとなっております。今後も特色ある教育活動を行うにあたって各方面に通知し、意見を取り入れる機会の継続を期待します。

・留学生の入学希望者が増加しているとあるので、グローバルな観点からも今後の将来構想を構築して頂きたい。

・理念の見直しを毎年度末の自己評価委員会で行い、改善に取り組んでいることはとても良いことだと思います。また、教育目標・人材育成像を学科ごとに示していく上で、業界及び企業の求める人材を、関連団体や企業との意見交換により、より明確にしていくことも検討して頂けると良いと思います。

基準 2

学校関係者評価委員評価シート

評価者 中山委員

2 学校運営

評価項目

2-1	目的に沿った運営方針がなされているか	A
2-2	学則等は整備されているか	A
2-3	人事給与に関する制度を完備しているか	A
2-4	意思決定システムを整備しているか	A
2-5	情報システム化による業務の効率化が図られているか	A

評価者意見

・自己評価では、全ての項目でAとなっております。今後も、必要に応じた見直しやフィードバックの継続を期待します。そして、積極的な業務の効率化を期待します。

3 教育活動

評価項目

- 3-1 理想に沿った運営方針が策定されているか A
特に、留学生に対しては専門的な知識だけではなく、社会人としてのビジネスマナー、日本の文化や習慣についても策定されています。時代のニーズに合わせ見直しをして頂き良いと思います。今後も日本の文化や伝統を学ぶ場を増やして頂きたいと思えます。
- 3-2 学科ごとの修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか B
シラバスの目標が設定されています。
- 3-3 教育目標に沿った教育課程を編成しているか A
学科ごとにシラバスを設定し明文化し、HP上にも公開されています。
- 3-4 教育課程に関して外部の意見を反映しているか C
どのような機会にどのように反映させているのか不明確です。
- 3-5 授業評価を実施しているか B
学生に対するアンケート等の実施で評価を行い、担当教職員にフィードバックしているとのことですが、内容によっては、担当教職員だけでなく学科、学校全体に改善が必要な物もあると思えます。フィードバック後の改善まで情報共有が必要と考えます。
- 3-6 成績評価・修了認定基準を明確にし、適切に運用しているか B
教育規程や内規、学生向けの冊子に明示しているとのことですが、シラバスへの明記等によりHP上で公開された方がより公正で透明性があると考えます。
- 3-7 目標となる資格・免許は教育課程上で明確に位置づけられているか B
明確に位置づけるという意味では、学科ごとに在学中に取得できる資格と、卒業後の目標となる資格や免許を設定したほうが良いと思えます。
- 3-8 資格・免許の指導体制はあるか A
定期試験や製作課題などを通じ、資格取得へなされていると捉えます。
- 3-9 資格・要件を備えた教員を確保しているか B
資格要件を備えた教員は確保されています。法令に基づき、資格・要件を明確にした教職員の採用に取り組んでいると思えます。採用条件について、採用要件等により教職員の人事考課につなげることで個人のキャリアアップとともに授業内容の向上が図れると思えます。
- 3-10 教育資質向上への取り組みを行っているか A
定期的な研修への参加がなされていると思えます。教員の資格取得や研修への参加により教職員の人事考課につなげることで個人のキャリアアップとともに授業内容の向上が図られると思えます。

3-1-1 教員の組織体制を整備しているか A
業務分掌、責任体制を定めており、毎年見直し改善されていて評価できます。

評価者意見

学生に対するアンケート等で授業評価、及びフィードバックがなされているのは素晴らしいと思いました。こういった定期的にPDCAサイクルを回すことで、より良い改善がなされるのだと感じました。

基準4

4 教育成果 評価者 鈴木委員

評価項目

- 4-1 就職率の向上が図られているか。 A
昨年度の就職率が90パーセントで、同業校との比較でも優位で評価できる。
- 4-2 資格取得率の向上が図られているか。 D
資格取得率が不明確であり、評価困難。目標とする資格取得要件が卒業後のものが多く卒業生の追跡調査が難しいのではないかと。定義を見直す必要もあるのではないかと。
- 4-3 退学率の低減が図られているか。 B
退学、除籍等の実態が不明なところがある。「中途退学低減は本校最大の課題」とあるので、これらも積極的に効果的なサポートと指導をお願いします。
- 4-4 卒業生の社会的評価を把握しているか。 B
「卒業生の社会的評価」とはどのようなことを指すのか明確にする必要がある。電話やメールでの実態調査、企業訪問についての努力は評価できる。
- 4-5 卒業生への支援体制を整備しているか。 B
特に留学生、製図科の学生には卒業後も相談に応じる体制が整備されていると思われる。

評価者意見

卒業生の実態把握の際に、在学中に学んでおけばよかった事やスキル等のヒヤリングをすることで、今後のカリキュラムに反映、取り入れることも検討できるのではないかと思います。

基準5

5 学生支援

評価者 小川委員

評価項目

- | | | |
|-----|---|---|
| 5-1 | 進路・就職に関する支援体制は整備されているか | A |
| | 本科生クラスは生徒数も少ないので、一人ひとりの相談連絡ができています。留学生クラスのように多くと、生徒の満足度はどれくらいか気になる。 | |
| 5-2 | 学生相談に関する体制は整備されているか | B |
| | いつでも相談できるカウンセラー、相談室は必要。有資格でなくても聞き上手な方で「多国語で話せる」、「女性・男性カウンセラー」、が何人かいると相談しやすい。 | |
| 5-3 | 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか | A |
| | 継続して頂きたいです。 | |
| 5-4 | 学生の健康管理を担う組織体制はあるか | B |
| 5-5 | 課外活動に対する支援体制は整備されているか | C |
| | 在学時、放課後の体育館を利用する生徒が一部の留学生だった。現在も開放は難しいが生徒同士が交流する場を用意して、誰もが気軽に交流できる場になると良いと思います。 | |
| 5-6 | 保護者と適切に連携しているか | B |

評価者意見

- ・現在はコロナ禍ですので、学生の生活、健康、進路等には引き続きサポートの強化を図って頂きたいと思います。
- ・学園独自の奨学金はとて有難いです。できる限り継続して欲しいです。

基準6

6 教育環境

評価者 小川委員

評価項目

- 6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか C
「建築物について市の指導を受けて改善計画に取り組んでいる」ということなので、今後も越谷市と連携をとって頂き、改善に取り組んでより良い環境作りをお願いします。
- 6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整えているか C
・このご時世のため、海外研修や都内へのインターンシップ等に足を運ぶことができないことが増えたのではないかと思います。
- 6-3 防災に対する体制は、整備し適切に運用されているか B
・感染防止策として網戸を設置する、緊急災害時のために避難訓練を行うなど、配慮されている点は素晴らしいと思います。

評価者意見

- ・引き続き、より良い教育環境作りをお願いいたします。

基準 7

7 学生の募集・受け入れ

評価者 細川委員

評価項目

- 7-1 学生募集を適切かつ効果的に行っているか A
・募集案内のパンフレット、ホームページを見ましたが、具体的に丁寧に説明されている印象を受けました。
- 7-2 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか B
・選考基準については、の学校評価で判断することができますが、この選考基準が適切に運用されているかの判断が難しいため、入学選考基準で運用した実際のサンプルがあると良いと思います。
- 7-3 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか B
・選考基準などの概要は把握できるが、合格率・辞退率など具体的なデータを示して頂きたい。
- 7-4 経費内容に対応して学納金を産出しているか A
・主な財務比率を拝見したが、学校運営においてのこれらの比率の良し悪しの判断ができないため、他校の財務比率を示して頂ければある程度の判断ができると考えます。
- 7-5 入学辞退者に対し授業料などについて適切な取り扱いを行っているか A
・実際に入学金等を納入して、3月末までに入学を辞退した具体的なデータがあれば直良いと思います。

評価者意見

- ・全体的に各項目の具体的なデータを掲載して頂けるとより詳しく評価ができると感じました。
- ・特に、積極的に取り組まれていると感じました。コロナ渦であっても、一定数の学生が確保できていること等からそう感じます。

基準 8

8 財務

評価者 田村委員

評価項目

- | | | |
|-----|--|---|
| 8-1 | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるのか | B |
| 8-2 | 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか | B |
| 8-3 | 教育目標との整合性を図り単年度予算、中期計画を策定しているか
・令和2年4月1日から令和3年3月31日の予算に対して決算が5億9千万以上15%予算超しているのはなぜか？
・内部留保は潤沢。計上収入の90%以上が学生からの収入だが今後コロナ渦で不透明なところがあるが、何か方策を講じているのか。 | B |
| 8-4 | 予算及び計画に基づき適切に監査を実施しているか。 | B |
| 8-5 | 私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか。 | B |
| 8-6 | 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し適切に運用しているか | B |

評価者意見

- ・予算策定に関しては、年度の資金繰りにあたり非常に重要。各部門と連携を図り念密な計画策定が必要であると思います。
- ・自己評価でCが二項目あります。今後の予算計画及び執行については、より適正で整合性のあるものを期待します。

基準 9

9 法令等遵守 評価者 田村委員

評価項目

- | | | |
|-----|-------------------------------|---|
| 9-1 | 法令や専修学校設置基準を遵守し適正な学校運営を行っているか | A |
| 9-2 | 学校が保有する個人情報に関する対策を実施しているか | B |
| 9-3 | 自己評価に実施体制を整備し評価を行っているか | A |
| 9-4 | 自己評価結果を公表しているか | A |

評価者意見

- ・個人情報の漏洩時のマニュアル等は整備されているのでしょうか？

基準 10

10 社会・地域貢献 評価者 細川委員

評価項目

- | | | |
|------|--|---|
| 10-1 | 学校の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
・より一層、地域住民とコミュニケーションをとって頂きたい。 | B |
| 10-2 | 学生ボランティア活動を奨励、支援しているか
・地域の方々に、学生たちの思いやりが目に止まる活動をお願いします。 | C |

評価者意見

・学校が、市街地・駅周辺に立地していることから、地域住民等との交流は重要かと思いません。学校評価でも掲載されている様々な取り組みについては、継続して取り組んでいただきたい。また、外国籍の生徒も多いことから地域住民との交流は積極的に行っていただき、地域・社会貢献の輪を広げて頂ければと思います。

・現在、学生が行っているボランティア活動内容を具体的に明示して頂きたいと思えます。また、学校評価の中に、「ボランティア活動を推進し」と明記されているので、どのようなボランティア活動を推進されているのかもあわせて明示いただければと思います。

基準 1 1

1 1 国際交流

評価者 細川委員

評価項目

1 1 - 1 留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって国際交流を行っているか。

B

・在籍学生の 98% が留学生であることから、学校内での活発な交流が国際交流にも繋がると考えられるので、積極的な学内交流を希望します。また、自校、他校の日本人学生との交流も留学生にとっては国際交流でありますので、何かしら取り組まれるのも一つの考えかと思います。また、様々な国の学生が在籍していると思いますので、学園内での国際交流を図っていただき国際的な知識や感性を育てて頂きたいと思います。

・在学中、「こんなに多国籍の学生が大勢在籍しているので、外国語を教えて欲しいな」と思ったことがありました。また、多言語に精通した方は必要と感じました。

CAD製図専門学校学校関係者評価委員会報告 総括

1 状況

- (1) 本委員会の発足は、令和3年度学校自己評価報告書が作成された後、令和3年4月1日、学校関係者評価委員会が成立。8月に第1回の委員会議を開催する運びとなった。
- (2) 令和2年12月から新型コロナ感染拡大に翻弄されて、会議の予定をたてるのが難しく、時には書面会議を余儀なくされた。

2 概要

- (1) CAD製図専門学校では平成29年度に荒川良平理事長退任から荒川剛二理事長の新任への移行があった。
- (2) 委員会は騒然とした社会情勢の中での船出であったが、選り抜きの専門家各位を委員に招くことができ、実のある会議がもたれた。
- (3) コロナ渦の中、学生も教職員も大きな負荷を強いられたがよく耐えて頑張った。

3 評価内容

- (1) 新理事長就任により、教育理念・人材育成・学校運営は委員会を重視し、コンプライアンスを最優先に掲げ実行し、大きな進歩がみられた。今後、さらなる学校運営等の透明性が必要か。
- (2) 教育活動に関しては今後、外部の意見を反映されたい。(第三者評価への移行)
- (3) 教育成果については専門学校としての資格取得率向上が求められる。各種資格の取得を推進されたい。
- (4) 学生支援については、常に学生ファーストの観点でされたい。
- (5) 教育環境については、大災害等も視野に入れて関係諸機関の指導を受けて更なる改善をされたい。
- (6) 学生の募集・受け入れについては、日本人学生(建築科)の募集推進と、留学生の安心できる受け入れを推進されたい。
- (7) 財務については、念密な予算策定とより適正で整合性のある執行をされたい。
- (8) 法令遵守に関しては、国や県の法令等を遵守してより適正な学校運営をされたい。
- (9) 社会・地域貢献については、今後より一層地域住民と連携して、ボランティア等でコミュニケーションをとりたい。また、国際交流は戦略をもって推進されたい。

おわりに

学校教育は、これで良いというゴールはない。しかし、学生の成長を期待し、長所を最大限に伸ばし足りないところはむしろのびしろと考えて、粘り強く辛抱し、成長した学生の姿を描いて実践したいものです。

本学校は、アジア諸国からの留学生が多く在籍し学んでいます。遠く祖国を離れ、ともすれば期待に反して危険な日本の国で学び、働くのは容易なことではありません。先生方には、是非留学生諸君の日本における父母としての役目もお願いいたします。

そして本学校が、真に学生から愛され、地域社会と連携し素晴らしい学び舎となることを切に願っております。

私たち学校関係者評価委員は、今後もCAD製図専門学校を暖かく厳しく見守り、輝く未来に向かって伸び行く学生の背中を押して上げられる存在でありたいと願います。

ありがとうございました。

令和4年4月30日

CAD製図専門学校関係者評価委員会
委員長 細川 威